

横浜市立大学における公正な研究推進のための研究倫理教育実施指針

令和元年 11 月 5 日

研究不正防止推進責任者裁定

1. 目的

公立大学法人横浜市立大学研究活動の不正行為及び研究費の不正使用防止等に関する規程で定める「研究倫理教育」の実施にあたっての実実施指針を定める。

本学における構成員（教職員及び学生）は、研究活動において求められる研究倫理について適切かつ系統的に学修し、未然に不正を防止する風土を醸成することで、科学の健全な発展に寄与する。

2. 本学における研究倫理教育の目標

本学における研究倫理教育は、次の目標を達成するために実施するものとする。

(1) 学術研究における公正性

学術研究における公正性、誠実性について理解し、持つべき姿勢・態度を認識・共有する

(2) 研究者の使命と責任ある研究活動

研究者が担う役割と社会的責任に自覚的に向かい合う

責任ある研究活動の重要性を理解し、研究対象を尊重する態度を身につける

(3) 法令の遵守

責任ある研究活動を実践する上での規則やポリシーに関する知識を持ち、遵守する

3. 本学における研究倫理教育の実施基準

本学における研究倫理教育は、次の基準にもとづき実施するものとする。

(1) 本学における研究倫理教育は、別表に定める「研究倫理に関する学修参照基準」に基づき、各学部・研究科の構成員に対応した研究倫理教育を実施すること

(2) 学生に対しては教育カリキュラムを通して基盤となる知識・技能を習得するとともに、日常の研究活動で実践する機会を与えること

別表 研究倫理に関する学修参照基準

■新しい科目を設置するのではなく、各学部・研究科等の現在のカリキュラムの中において、体系的な研究倫理教育が実施されることを想定しています。

■全学部・研究科共通の基準を示しており、専門分野特有の研究倫理に関する内容は記載していません。

■研究倫理に関する教育内容、学生が到達すべき内容やそのための学習方法、到達の確認方法、各専門分野特有の事項など、各学部・研究科において具体的な実施について検討をお願いします。

	入学時 (全学部共通) ～	研究開始時～	論文執筆時～	大学院入学時～	研究指導教員	部局長
責任者	共通教養長	学部長	学部長	研究科長	指導教員 (ゼミ長・受入教員)	研究不正防止推進責任者
(1) 学術研究における公正性	◎大学での学び方を知る ◎学術研究における誠実性に基づく姿勢、態度 ・科学技術と社会との関係	◎科学者の役割 ◎研究の自由と守るべきもの ・成果発表上の原則（責任あるオーサiership、適切な発表、社会への発信）	◎科学者の役割 ◎成果発表上の原則（責任あるオーサiership、適切な発表、社会への発信） ・研究の自由と守るべきもの	◎科学者の役割 ◎成果発表上の原則（責任あるオーサiership、適切な発表、社会への発信） ・研究の自由と守るべきもの	◎教育・指導	◎環境づくり ・教育・研修プログラム
(2) 研究者の使命と責任ある研究活動	◎レポートの書き方 ◎引用の仕方 ◎データと試料の扱い（収集、管理、処理）	◎責任ある研究活動の概念 ・倫理問題に関するケース・スタディ ・研究記録やデータの整理により、検索、抽出可能な形で整理、保管 ・適正なバックアップの作成 ・試料は可能な限り保存 ・試料に関するデータの記録・整理	◎倫理問題に関するケース・スタディ ◎データの扱い（収集、管理、処理） ・責任ある研究活動の概念 ・知的財産（著作権、特許） ・研究記録やデータの整理により、検索、抽出可能な形で整理、保管 ・適正なバックアップの作成 ・試料は可能な限り保存 ・試料に関するデータの記録、整理	◎倫理問題に関するケース・スタディ ◎データの扱い ・責任ある研究活動の概念 ・知的財産（著作権、特許） ・研究記録やデータの整理により、検索、抽出可能な形で整理、保管 ・適正なバックアップの作成 ・試料に関するデータの記録・整理 ・安全保障への配慮、実践、改善提案 ・メンターとしての指導責任	◎責任ある論文審査 ◎知的財産（著作権、特許） ◎メンターとしての指導責任 ◎学生指導とコーチング ◎ピア・レビューの役割 ◎研究倫理審査の役割 ◎問題ある研究活動への指導方法 ・教育・指導 ・データ管理 ・研究室統一フォーマットの作成など ・試料の保管法、保管場所の確保	◎研究倫理審査の役割 ◎問題ある研究活動への指導方法、 教育・研修プログラム ・データ・バックアップ用サーバーの提供など、 インフラ整備 ・特殊な保管条件を要する試料のインフラ整備 ・安全な環境づくり ・安全点検パトロールなど ・メンターとしての指導責任 ・学生指導とコーチング
(3) 法令の遵守	・研究不正防止に関する取り組み ・研究実施上遵守すべき法令、ルール（共通） ・研究不正行為の概念と回避 ・研究不正の防止と告発 ・個人情報の保護	◎生命科学・工学・心理学など個別分野での倫理 ◎研究実施上遵守すべき法令、ルール（分野ごと） ・研究不正防止に関する取り組み ・研究倫理教育の重要性 ・守秘義務	◎研究不正行為の概念と回避 ◎研究不正の防止と告発 ◎個人情報の保護、守秘義務 ◎研究不正防止に関する取り組み ◎研究倫理教育の重要性 ・研究実施上遵守すべき法令、ルール ・利益相反	◎研究不正行為の概念と回避 ◎研究不正の防止と告発 ◎個人情報の保護、守秘義務 ◎研究不正防止に関する取り組み ◎研究倫理教育の重要性 ◎利益相反 ・研究実施上遵守すべき法令、ルール	◎教育、指導 ◎研究費の適切な使用	◎環境づくり ・教育、研修プログラム

「横浜市立大学における公正な研究推進のための研究倫理教育実施指針」に関する補足説明

<1. 学術研究における公正性>

学術研究における公正性、誠実性を理解し、持つべき姿勢・態度等を共有する

■ 横浜市大学生としての自覚を持つこと

■ 研究者としての姿勢・態度等を持つこと

■ 「公立大学法人横浜市立大学における研究費の使用等に関する行動規範」の理念の理解と重視すべき価値の共有 など

a) 学術研究における公正性、誠実性に基づく姿勢・態度の修得

(例) カンニングをしない、同一レポートを使いまわさない、
他者が作成した物を自分が作成したことにしない等

b) 倫理的な感受性の向上

(例) 研究活動における倫理問題を見いだすことができる能力の修得等

c) 倫理的問題を解決するためのスキルを修得する

<2. 研究者の使命と責任ある研究活動>

■ 研究者が担う役割と社会的責任を理解し、持つべき姿勢・態度等を共有する

■ 研究者は社会の責任あるメンバーであるとの意識

■ 学術研究における今日的倫理問題の理解

■ 科学技術の環境及び社会に与える影響の理解 など

■ 責任ある研究活動の概念とその重要性を理解し、実践する

■ 研究の自由と守るべきものへの理解

■ 正しいデータの扱い

■ オーサーシップの理解 など

研究者の使命

a) 研究者の役割と社会的責任を理解する

b) 医学・理学・生命科学・情報科学・経済学など自らが所属する個別分野での倫理問題（例えば、技術倫理、情報倫理、人を対象とする研究に関する倫理）についてケーススタディを実施し、理解する

責任ある研究活動

A) 責任ある研究活動の推進及び研究不正の防止についての知識・理解

a) 研究不正（捏造、改ざん、盗用）および「疑わしい研究行為」の意味について理解する（研究不正が、個人、研究室、組織、社会、および科学に与える影響に関する理解を含む）

b) 研究不正および「疑わしい研究行為」が起こる要因を理解する

c) 研究不正の告発および調査の方法に関する知識を持つ

d) 研究倫理審査の役割について理解する

e) 責任ある研究活動に関する規則やポリシーの限界および、分野・組織・研究室による基準・規範の相違を検討できる

B) 責任ある研究活動におけるデータの扱い方に関する知識・理解

f) 専門分野においてデータの実践的で正しい取り扱い方（研究ノートの作法、データの収集、記録、管理、共有、所有等）を理解する

C) オーサーシップの意味と重要性に関する理解

g) オーサーシップの意味と重要性（論文の著者・共著者としての役割と責任を含む）について

理解し、不適切なオーサーシップ（ゴースト/ギフト・オーサーシップなど）とその問題点について理解する

h) 成果発表における規則（二重投稿・二重出版等の禁止）について理解する。

D) 責任ある研究活動を推進するために必要な環境の整備に関する知識と態度


i) 適切な研究環境の整備に貢献できる（メンターとトレニーの役割と責任、オープンな研究環境の構築）


j) 研究倫理教育の重要性と方法について理解する


k) 研究における倫理的問題を予防する方法を検討できる

<3. 法令の遵守>

責任ある研究活動を実践する上で規則やポリシーに関する知識を持ち、これらを遵守する

 国や大学が定める研究に関する諸規則・ポリシー

 研究不正への対応に関する規則

 研究費の適切な利用 など

A) 責任ある研究活動を行うための法令・ポリシーなどに関する知識・理解

a) インフォームド・コンセントについて理解する

b) 個人情報保護の重要性について理解する

c) 守秘義務について理解する

d) 知的財産（著作権、特許など）について理解する

e) 安全保障について理解する

f) 研究活動を行う上で遵守すべき規則やポリシーに関する知識を持つ

B) 研究不正への対応に関する規則やポリシーについての知識・理解

g) 研究不正に関する規則やポリシーに関する知識を持つ

C) 共同研究に関連する規則やポリシーなどについての知識・理解

h) 共同研究の重要性、ルール、課題、注意点について理解する

D) 利益相反に関する知識・理解

i) 利益相反の意味・重要性、種類（経済的利益相反、責務の利益相反など）、関連する規則、および対処の方法について理解する

E) 研究費の適切な利用

j) 研究活動を行う上で必要な研究費の適切な利用について理解する

学習方法の一例

✓ 「大学での学び」について、学生とディスカッションする。

✓ 研究倫理に特化した授業を1回開講する。又は、研究倫理に関する内容を授業の一部で取り上げる（レポートの書き方や、引用の仕方、データの取扱い方、オーサーシップ等、当該授業に関連する内容を取り上げる）。

✓ 学部、研究科等のガイダンスやオリエンテーション等の場で研究倫理の内容を含め、学生の研究倫理に対する意識を喚起する。

✓ 研究室や授業等において事例を用いたディスカッションを行う。

研究倫理に関する教育支援教材

1. 学術情報センターの学修支援サービス
<https://opac.yokohama-cu.ac.jp/drupal/?q=ja/guide>
2. 科学技術振興機構「THE LAB」
<https://lab.jst.go.jp/index.html>
3. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構「事例から学ぶ公正な研究活動 ～気づき、学びのためのケースブック～」
https://www.amed.go.jp/kenkyu_kousei/kiyouzai_houkoku.html
4. 日本学術振興会「科学の健全な発展のために-誠実な科学者の心得-（グリーンブック）」
<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html>
5. 東北大学 「学習・研究倫理教材」
<http://sla.cls.ihe.tohoku.ac.jp/handbook/>
6. その他、不正防止対策として参考になる教材等へのリンク集
https://www.jst.go.jp/kousei_p/measure_tutorial.html （研究公正ポータルより）

参考資料

- ・ 研究公正に関するシンガポール宣言（訳）
https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/singapore_statement_JP.pdf
- ・ 科学研究における健全性の向上について（日本学術会議）
<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-23-k150306.pdf>
- ・ 文部科学省：科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－
http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/1353972.htm
（東京工業大学）
- ・ 全学的な研究倫理教育-東工大における取組-（2018年9月19日）（研究公正ポータルより）
https://www.jst.go.jp/kousei_p/posts/media/JST-WS2018-ppt_Fudano.pdf
- ・ 研究倫理教育 教育・国際連携本部で策定した全学的な方針等（大学 HP より）
http://www.eduplan.titech.ac.jp/w/creative_subject/ethic_student/
- ・ 学生に対する研究倫理に関する教育の促進について
- ・ 平成31年度からの学生に対する研究倫理教育の実施に向けてお願いしたいこと
- ・ 研究倫理に関する学習・教育目標等一覧（概要版/詳細版）
- ・ 研究倫理に関する学習・教育目標の整理（ガイドライン）
- ・ 大学として備えている研究倫理に関する授業科目、教育支援ツール等
（東北大学）
- ・ 研究不正の対応に係る体制整備について（大学 HP より）
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kenkyo/fb/fuseibousi.htm>
- ・ 東北大学における公正な研究推進のための研究倫理教育実施指針、表1・2、学習事例
- ・ 東北大学における公正な研究推進のための共同研究等実施指針
- ・ 東北大学における公正な研究推進のための研究データ等の保存及び管理に関する指針
（東京大学）
- ・ 東京大学における「研究倫理アクションプラン」に係る取組状況（2016年7月4日）
（筑波大学）
- ・ 「研究倫理教育」及び「研究資料等の保存」に関するガイドライン等について（大学 HP より）
<http://ura.sec.tsukuba.ac.jp/archives/17739>
- ・ 筑波大学研究倫理教育に関するガイドライン